

《報道関係者各位》

2017年1月5日

LIXIL住宅研究所 今社長 2017年 年頭挨拶

株式会社LIXIL住宅研究所

当社社長 今 城幸による「2017年 年頭挨拶」をお送りします。よろしくお願い致します。

記

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、心新たに新年を迎えられたことと存じます。
年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

2016年は、熊本地震や鳥取地震など大きな地震が頻発。さらに北海道には台風が連続して上陸し、浸水被害が拡大。阿蘇山では噴火が発生するなど、多くの自然災害が発生しました。

日本経済においては、2月に“マイナス金利政策”の導入、6月には消費税10%への増税延期など様々な景気対策が行われました。一方で、各企業は先を見据えて業界内での提携、合併、買収、経営統合などの動きが活発となり、この動きは、今後も続いていくものと考えています。

住宅業界においては、マイナス金利導入による住宅ローン金利の低下、住宅ローン減税、リフォーム関連の税制優遇など、住宅需要の下支えとなる取り組みが実施されたこと、相続税増税の影響などにより、住宅着工戸数は増加の傾向となりました。様々な出来事がありましたが、結果として2016年は緩やかな景気回復傾向にあったと考えています。

ただ、今後の需要については、個人消費が依然として足踏み傾向が見られていることから、新築・リフォーム需要ともに、現状では大幅な伸びは見込めないのではと考えています。

当社では、2016年は前年に続き新築住宅を起点とした「ワンストップハウジング」戦略を掲げて取り組んでまいりました。新築事業においては、「良質な住宅の標準化」としてZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)住宅を標準仕様とするとともに、「レジリエンス」をキーワードに新商品「次世代レジリエンスホーム『家+X』」をアイフルホーム、フィアスホーム、GLホームの全てのブランドで発売。平時だけでなく有事のことも考えた商品を提供することで、お客様の住まいに関するご要望にお応えできる商品ラインアップを揃えられたと考えております。

リフォーム事業においては、新築事業で培ったスキルを活用し、リフォームサービスの「質の向上」に取り組みました。4月に家を一棟まるごとリフレッシュする商品「新築mitai(みたい)」を発売。10月には、「新築mitai」に組み合わせるサービス「レジリエンスセット」の提供開始により、既存建物と地盤に対する不安を同時に解消する、業界初のリフォーム商品を提供できるようになりました。結果、リフォーム需要は増加傾向にあり、取り組みの成果は着実に出ていていると考えています。

2017年は、これまで同様、新築事業を柱とした「ワンストップハウジング」の考え方を元に、世の中の変化に柔軟に対応していくとともに、「ZEH」や「レジリエンス」の取り組みは基本性能として、積極的にお客様にお届けしてまいります。また、将来の成長に向けて“生涯顧客化”を念頭に、よりスピード感を持って、新築から家の老朽化、世帯の変化、転居・住み替え、高齢化・介護などあらゆる住生活ニーズに対応できる商品・サービスの強化を図ってまいります。新築・リフォームとも高付加価値商品・サービスをご提供することで、「ハード(家)」ではなく「ソフト(暮らし方)」の提案を進め、引き続き、お客様に「豊かで快適な住生活をお届けする」ことを目指してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

【報道関係者のお問合せ先】

㈱LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

LIXIL住宅研究所ホームページ/TOP URL:<http://www.lixil-jk.co.jp/>